

アンケートにご協力ください

空襲・戦災を記録する会全国連絡会議幹事会

空襲・戦災を記録する会全国連絡会議（以下会と略称）の第1回全国大会が開催されたのは1971年（昭和46年）のことでした。来年の東京大会は記念すべき第50回の大会になります。この間、全国大会の運営方法などは変化しましたが、開催地の方々の努力によって、大会が50年間も受け継がれてきたことは、素晴らしいことだと思います。

幹事会では、現在、会の10年後を見据えて今後の会のあり方に関する議論を行っていて、来年の区切りの大会に会則の変更などを提案し、新たな歩みをはじめたいと考えています。第50回大会までにはまだ少し時間がありますので、山梨大会に参加された皆様、そして大会には参加されませんが会の将来に関心をお持ちの方々にアンケート調査を行い、今後の幹事会の議論の参考資料にしたいと考えています。

なお、アンケート用紙は、持ち帰っていただいて記載ののち郵送していただいてもけっこうです。質問に沿った回答要旨をメールで送っていただいてもかまいません。メールの場合、質問用紙の書式に合わせていただく必要はありません。

質問用紙は会のホームページからダウンロードできるようにしておきます。

以上、よろしくお願いいたします。

2019年8月31日

1. 幹事会では会の存続や会の名称の発展的改称について議論しています。

あなたの考えと一致するものを○で囲んでください。なお下の項目に②と答えた方は最後の質問（質問5）にジャンプしてください。

①会存続の意義は十分あり、今後とも存続すべきである。

②会は歴史的な使命を終えたので解散してもよい。

③その他（ ）

2. 会を存続させる場合、どのようなやり方が良いとお考えですが。

①現在の会の名称を変更しない。

②団体から派遣されて参加する人より個人での参加が多くなっている現状を踏まえて「空襲・戦災を記録する会」と発展的に改称する。

③上の②以外の名称にする。 名称案（ ）

3. 現在の会則には会費の規定がなく、どの団体が加盟しているのか、また誰が会員なのか確認できない状態です。会費徴収についてご意見をうかがいます。

①現在のままで良い。

②会費を徴収しても良い。

③その他（ ）

4. 上の3の質問に②会費を徴収しても良い、と答えた方への質問です。どの程度の会費が必要とお考えですか。なお幹事会では、会員から年間1000円徴収し、会報『空襲通信』（800円）を無料配布するほか、年賀状と大会案内を送って会費を還元するという案が出ています。

①1000円（会費を会員に100%還元するという考え方）

②2000円（会の活動経費も必要だという考え方）

③その他（ ）

5. ご協力ありがとうございました。幹事会では皆さんから寄せられた回答をもとに議論を深めていきたいと考えています。上記の質問のほかに、会の運営について日頃考えていらっしゃることも、または会の将来についてのご意見があれば、以下に自由に記入してください。